



平和首長会議ニュース

2021年1月 / 第133号

平和首長会議加盟都市数

165 各国・地域 8,002 自治体

加盟都市数 10,000 都市を

目指しています！

日本国内加盟自治体数：1,734

(2021年1月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

ツイッター:

<https://twitter.com/Mayors4Peace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆平和首長会議の加盟都市数が8,000を超えました！
- ◆2020ビジョンの総括文を発出しました
- ◆子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2020の入賞作品が決まりました
- ◆核兵器禁止条約が発効しました
- ◆未加盟都市への呼び掛けに関する好事例を紹介します！
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 165各国・地域 8,002自治体
- ◆平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
- ◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)

■平和首長会議の加盟都市数が8,000を超えました！

1月1日に28都市が新たに加盟したことにより、平和首長会議の加盟都市が8,000を超えました。リーダー都市をはじめ、加盟都市の皆様の長年に亘る御協力に深く感謝いたします。

近年の加盟拡大に向けた主な取組と、関係協力機関・団体からのメッセージをご紹介します。

● 近年の加盟拡大に向けた取組

◆会長による働き掛け◆

毎年、8月6日の広島市での平和記念式典に参列する各国駐日大使等に本国での未加盟都市に対する加盟呼び掛けを依頼しており、ヨルダン、ボスニア・ヘルツェゴビナ等から多くの都市が新たに加盟しました。また、各国政府関係者等との面会や、アフリカ地域駐日大使会合への出席等様々な機会を活用し、平和首長会議の取組を紹介するとともに、加盟呼び掛けを行っています。



アフリカ地域駐日大使会合での呼び掛け

◆事務総長による働き掛け◆

2020年に8か国の駐日大使館を訪問し、各国駐日大使等に直接協力を依頼しました。平和首長会議の取組について各国駐日大使から好意的な評価をいただき、モンゴル大使館が本国の全県に加盟を働き掛ける等、本国の関係機関に積極的な情報提供を行う動きに繋がっています。



駐日大使館での呼び掛け

◆リーダー都市による働き掛け◆

ドイツ支部では、ハノーバー市が、フラッグ・デーや地域会議の開催、ウェブサイト等を活用した積極的な情報発信等、継続的な活動を行った結果、加盟都市が2020年11月に700を超えました。

ベルギー支部では、イーペル市が、国内の全ての未加盟都市に対し市長が加盟を呼び掛ける書簡を発送し、2020年に20都市以上が新たに加盟しました。現在同国内の581都市のうち、2/3以上を占める395都市が加盟しています。



ハノーバー市のフラッグ・デーの様子

英国・アイルランド支部では、マンチェスター市が、地域会議の開催や、定期的なニュースレターの発行等によって平和首長会議の取組の周知を図っています。2020年にはダブリン市長とマンチェスター市長がアイルランドの全ての未加盟都市に加盟要請書簡を送付したことから、新たに加盟する都市が増えています。

● お祝いメッセージ

【中満泉国連事務次長兼軍縮担当上級代表のお祝いメッセージ】

平和首長会議の加盟都市が8,000に到達したことに心からお祝い申し上げます。

この素晴らしい節目の出来事は「平和と信頼の国際年」である2021年のスタートとしてふさわしいものです。

また、平和首長会議が松井一寛広島市長のリーダーシップの下で、核兵器のない世界に向けて道を切り開いてきた献身的な取組に対しても称賛を贈りたいと思います。現在、世界の大半の人々は都市で生活しており、都市の首長が団結することは、すなわち世界が団結するということです。貴組織の絶え間ない努力によって、平和のために10,000都市が団結するという目標も達成できると確信しています。



【ペーター・マウラーICRC 総裁のお祝いメッセージ】

平和首長会議の加盟都市が8,000に到達したという重要な節目を迎えたことに心からお祝いを申し上げます。約40年に亘る貴組織の不断の努力により、世界の人々は「広島・長崎への原爆投下で引き起こされた言語を絶する苦しみを、他の都市に絶対にさせてはいけない」という共通の目標の下で団結しました。核兵器は安全保障上における人類共通の脅威であり、発効が間近に迫っている核兵器禁止条約が示唆するように、非人道的で、非道徳的かつ国際法上違法なものです。都市と市民はこの歴史的な進展において、極めて重要な役割を果たしているのです。



【ベアトリス・フィン ICAN 事務局長のお祝いメッセージ】

核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)を代表して、平和首長会議の加盟都市が165か国・地域の8,000に到達したというこの素晴らしい節目の出来事に心からお祝い申し上げますとともに、歓喜しています。この功績は、貴組織が長年に亘り確実に推進してきた普遍的な平和のメッセージに対して草の根レベルで幅広い支援が得られたことを反映しています。

平和首長会議は、核軍縮の達成と核兵器禁止条約の成功という私たち共通の挑戦において重要な役割を担ってきました。松井広島市長と田上長崎市長のリーダーシップも同様に、政府や市民社会に大きな影響を与えてきました。平和首長会議の使命から着想を得たICANシティーアピールに対する支援にも心から感謝しています。

今後も平和首長会議との実りある協力関係と連携が末永く続くことを期待しています。



平和首長会議では、今後も核兵器廃絶を求める国際世論を醸成・拡大するために、10,000 都市加盟を目指して様々な取組を行います。引き続き、御協力いただきますようお願いいたします。

▼平和首長会議ウェブサイト関連ページ:

http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/210120_news.html

■2020ビジョンの総括文を発出しました

平和首長会議は、2020年までの核兵器廃絶を目指す行動指針「2020ビジョン」を2003年10月に策定し、世界に広がる加盟都市とともに様々な取組を実施してきました。2020年末をもって同ビジョンが終了したことに伴い、達成状況やこれまでの取組を総括しました。

総括文書は、平和首長会議ウェブサイトでご覧いただけます。

▼原文(英語):

http://www.mayorsforpeace.org/english/whatsnew/news/210128_news.html

▼日本語訳:

http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/210128_news.html

なお、次期ビジョン及び行動計画は、新型コロナウイルスの感染拡大により2021年8月を目途に延期となった第10回平和首長会議総会で策定する予定です。2020ビジョンに基づく具体的な取組を記載している行動計画(2017年-2020年)については、それまで暫定的に終期を延長することとし、取組を継続します。

=====
■子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト 2020 の入賞作品が決まりました
=====

平和首長会議では、行動計画(2017年-2020年)に重点取組事項として掲げた「次代を担う若い世代の意識啓発を目指す平和教育」の一環として、全加盟都市の子どもたちを対象とした“平和なまち”絵画コンテストを2018年から実施しています。

3度目の開催となる今回は、世界19か国99都市へ前回は上回る3,122作品の応募があり、各都市での審査を経て466作品が平和首長会議事務局に送付されました。事務局における選定の結果、12点を入賞作品として決定しました。入賞作品は、作者が作品に込めた思いとともに、平和首長会議のウェブサイトでご覧いただけます。

なお、平和首長会議会長賞を受賞した作品は、平和首長会議のPRグッズ(クリアファイル)のデザインとして採用し、平和教育の重要性についての認識を広げるため、国連等で開催される会議や各国大使への加盟要請など様々な場面で活用します。



会長賞を受賞したバンダル・アッバース市(イラン)の
ネガル・ゲイビさん(8歳)の作品

▼入賞作品はこちら(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives/2020_Art_Competition_result.html

=====
■核兵器禁止条約が発効しました
=====

昨年10月24日にホンジュラスの批准により核兵器禁止条約の批准国が50か国に達し、その90日後に当たる1月22日に核兵器禁止条約が発効しました。

平和首長会議では、10月に各国政府等に宛てて公開書簡を发出し、発効確定を祝うイベントを開催しました。また、発効の翌日の1月23日には東京・広島・長崎をオンラインで繋いだ発効記念イベントを被爆者や平和団体とともに開催しました。このイベントを含む、各地で行われた記念行事については、2月号でお知らせします。

=====
■未加盟都市への呼び掛けに関する好事例を紹介します！
=====

平和首長会議では、「核兵器のない世界」の実現に向けた更なる国際世論の醸成・拡大を目的に、10,000都市加盟を目指しています。

加盟都市の拡大の取組をより一層推進するため、未加盟都市への呼び掛けにより加盟につながった好事例を紹介します。

◆駐日ボスニア・ヘルツェゴビナ大使による呼び掛け

シニシャ・ベリヤン駐日ボスニア・ヘルツェゴビナ特命全権大使は、昨年8月の広島平和記念式典に参列し、平和首長会議の取組に感銘を受けられたことをきっかけに、母国に帰国した際、同国内の都市を自ら訪問し、積極的に加盟を呼び掛けられました。

昨年12月18日、大使は平和首長会議会長を訪問し、呼び掛けに応じた26都市分の加盟申請書を直接手渡されました。

大使は、「平和首長会議が世界恒久平和を目指すネットワークを広げるため10,000都市加盟という目標の下で加盟拡大を図っていることを、ボスニア・ヘルツェゴビナ国内の未加盟都市に加盟を呼び掛ける際に伝えた。今後も全自治体の加盟を目標に、協力を継続していきたい。」と述べられました。



本コーナーで紹介する事例を参考に、姉妹・友好都市等交流関係のある未加盟都市に是非加盟の働き掛けをお願いします。呼び掛けの際にご活用いただける加盟要請書類(10 か国語)は以下からダウンロードできます。

▼加盟要請書類一式

URL: <http://www.mayorsforpeace.org/jp/aboutus/join.html#section01>

事務局では、未加盟都市への呼び掛けに関する好事例を随時募集します。他都市の参考になるよう、メールマガジンでご紹介しますので、皆さまからの情報提供をお待ちしております。

<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議事務局では、行動計画に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介します。行事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

▼平和首長会議行動計画に基づく都市別の取組実施都市等一覧(海外・12月分):

http://www.mayorsforpeace.org/data/04_list_of_activities/monthly/2020_December_List_of_Activities.jp.pdf

=====
■平和首長会議加盟自治体数: 165 各国・地域 8,002 自治体
 =====

1月1日付で、28自治体が加盟し、加盟自治体数は8,002となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。新たに加盟した国・地域と内訳は以下のとおりです。

国名	新規加盟 都市数	合計	備考
日本	1	1,734	野洲市(滋賀県)が加盟。国内全自治体加盟まであと7都市。
ボスニア・ヘルツェゴビナ	24	38	ベリヤン駐日ボスニア・ヘルツェゴビナ大使の呼び掛けにより加盟(P.5に関連記事)。
ドイツ	1	704	副会長都市及びリーダー都市のハノーバー市の呼び掛けにより加盟。
アイルランド	1	12	副会長都市及びリーダー都市のマンチェスター市の呼び掛けにより加盟。
スペイン	1	394	同国から2か月連続の加盟。

▼1月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/03_newmembers/2021/newmembers2101.jp.pdf

▼加盟都市数一覧(国・地域別)

http://www.mayorsforpeace.org/data/01_monthly Updating/07_membership_by_country.jp.pdf

=====
■平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
 =====

2017年8月に長崎市で開催された第9回平和首長会議総会において、「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)※」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた国際世論を醸成・拡大するための取組の推進にご協力ください。

※次期行動計画は、新型コロナウイルスの感染拡大により2021年8月を目途に延期となった第10回平和首長会議総会で策定する予定です。現行の行動計画は、それまで暫定的に終期を延長することとし、取組を継続します。

▼「平和首長会議行動計画」(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/conferences/general/data/9th_gc/Action_Plan_2017-2020_J.pdf

▼行動計画に基づく取組(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives.html>



**「核兵器禁止条約」の
早期締結を求める署名活動に
取り組んでください**



**平和首長会議原爆ポスター展を
開催しましょう**



**「広島・長崎講座」の普及に
ご協力ください**

=====
■平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
=====

平和首長会議事務局では、自治体、学校、NGO等、様々な実施主体による平和教育の取組事例を「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介することにより、そうした活動の広がりを促進していくため、各加盟都市において実施されている平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています。

これまでに寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

▼平和を希求する心を育てる取組の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives.html#section10>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。いただいた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

TEL:082-242-8872 FAX: 082-242-7452

=====
■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
=====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

被爆樹木二世の苗木の配付を希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。

※この事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の苗木の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

▼TEL: 082-242-8872 FAX: 082-242-7452

▼被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives.html#section04>



**被爆樹木二世の苗木を
育ててください**

=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第75回）

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]
=====

2021年は、世界と同様に日本も新型コロナウイルス感染の第三波に見舞われる中で明けました。原爆資料館と国立広島原爆死没者追悼平和祈念館が再び臨時休館となっただけに、平和記念公園を訪れる人もまばら。ただ、街は静かでも、広島の子や被爆者たちは、1月22日の核兵器禁止条約の発効を大いに喜んでいました。

そして今、核兵器禁止条約の意義を改めてかみしめています。読者から中国新聞社に最近、爆心直下の旧猿楽町の街角や笑顔の子どもたちを捉えた貴重な写真が多数、寄せられました。街の被爆前の面影を今に伝える写真資料は、わずかししか現存していません。人と暮らし、文書や写真などの記録をもろとも、徹底的に焼き尽くす非人道兵器が核兵器なのです。戦後、広島は焼け野原から見事に再生を果たしましたが、失われた街と人の命を取り戻すことは決してできません。

条約の根本にある「ヒロシマとナガサキのような惨禍を決して繰り返させない」という決意を胸に、世界各国の市民が自分の国の政府に対して、条約参加を粘り強く求めていくことが求められています。この条約に背けている被爆国日本の市民にとっても、大きな課題です。

関連記事は次のアドレスで読めます。

[ヒロシマの空白 街並み再現] 旧猿楽町 生き生き 爆心直下 写真14枚見つかる
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=102834>

胎内被爆者が手記集 連絡会、2冊目発行 全国の42人 思い託す
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=102624>

『記憶を受け継ぐ』 大沢美智子さん—独神父のおかげ 命継ぐ
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=102499>

[戦後75年 二つの被爆地 中国・西日本2紙共同企画] 証言に込めた願い
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=102695>

[ジュニアライターがゆく] 平和公園の施設 どんな仕事
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?junior=2020-18>

このメールマガジンに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町 1-5
(公財)広島平和文化センター 平和首長会議・2020ビジョン推進課
TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452
Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

平和首長会議メールマガジンの最新号やバックナンバーは、次のアドレスからご覧いただけます。
<http://www.mayorsforpeace.org/jp/statements/newsflash.html>

【平和首長会議公式SNSアカウント】

〈ツイッター〉 
<https://twitter.com/Mayors4Peace>



〈フェイスブック〉 
<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！